



written
and
directed
by
WILLIAM KLEIN

starring DOROTHY MAC GOWAN · JEAN ROCHEFORT
SAMI FREY · GRAYSON HALL
with PHILIPPE NOIRET · ALICE SAPRITCH
music MICHEL LEGRAND
produced by ROBERT DELPIRE
DELPRE PRODUCTIONS and FILMS PARIS NEW YORK
distributed by DAIEI (DAIEI logo) in cooperation with BEAMS

Qui êtes-vous Polly Maggoo?

ポリ・マギーお前は誰だ？

© WILLIAM KLEIN 1966

Qui êtes-vous Polly Maggoo?

ポリィ・マグーお前は誰だ?

written and directed by WILLIAM KLEIN



STORY

60年代のパリ。華やかなパリ・コレで大成功を収めたモデルのポリィ・マグーは、一躍時代の寵児となる。テレビ・ディレクターのグレゴワールはポリィの番組を作るために彼女を追いつつ、いつしか彼女を愛するようになる。一方ポリィの写真に一目惚れしたボロジナ王国の王子と、彼女の結婚を夢見ていた。パリを訪れた王子は、公務の間にポリィを探しに出るが…。

CAST

ポリィ・マグー：ドロシー・マクゴワン
グレゴワール：ジャン・ロシュフォール「髪結いの亭主」
イゴール王子：サミー・フレイ「うたかたの日々」「はなればなれに」
ジャン・ジャック：フィリップ・ノワレ「ニューシネマ・パラダイス」「イル・ポストイノ」
エステル：ジョアンナ・シムカス「冒険者たち」「パリとこころごころ」
王子の家来A：ローランド・ボール
特別出演：デルフィヌ・セリグ「ミスター・フリーダム」「去年マリエンバートで」

STAFF

監督・脚本：ウィリアム・クライン「ミスター・フリーダム」
撮影：ジャン・ポフェティ「冒険者たち」「ボウイ&キーチ」
音楽：ミシェル・ルグラン「女は女である」「シェルブールの雨傘」
エンドクレジット絵：ローランド・ボール「ファンタスティック・プラネット」作画・脚本

- *ビームス特製オリジナルTシャツ発売。
- *ビームスによる劇中のファッション・ショーを再現したイベント有。
- *ビジュアルブック発売。
- *エスカーター・レコードより「ポリィ・マグーお前は誰だ?」イメージ・アルバム発売/関連クラブイベント有。

例えばハリウッドなんかで作られる大衆的な娯楽映画がある一方、ちょっと踏み込んでみるとアーティスティックな映画世界が広がっていきます。そしてそんな映画は決まって熱病のように僕らを襲い、中毒症状まで引き起こしたりするものです。僕は高1の時、ゴダールの映画を見て以来ずぶずぶとやられちゃいました。(中略)

やがて熱病が少しずつ落ち着いていくと、ハリウッド映画はハリウッド映画なりの良さがある事に気づき、マジョリティーもマイノリティーも別け隔てなく楽しめるようになったのです。それが20代前半の頃。

そしてこの「ポリィ・マグーお前は誰だ?」もそんな時期に見た映画の一つです。たしか'91年のウィリアム・クライン映画回顧展で。もう、その刺激、衝撃度といったらばうらぼうだったのですが、あれ以来この映画を見る機会もなく、(たぶん上映されてない?)実はほとんど覚えていません。今思い出せるのは、ポスターにもなっていたストライプの壁のメイク・ルームにたむろする目張りパッチリのモデルさん達のシーンくらい。あんなに各シーンがスタイリッシュでかっこよかったのに…。けどシーンはちょっと記憶の底に埋れてしまっても、この映画が僕の中で“特別なもの”である事はその時も今も変わりないのです。記憶とはそんなものだし、だからこそ今回のリヴァイヴアルは本当に嬉しいです。サンキュー!!

昨今のアンナ・カリナ/ゴダールもののリヴァイヴアルや「ミスター・フリーダム」(超サイコー!!)やこれにだって、本当に僕は幸せな世紀末をすごしているとは思いません。なあ、レディーズ・アンド・ジェントルメン。

カジヒデキ

できれば10代、20代の若い人たちに観てもらいたい。'60年代といえ、まだ生まれる何十年も前の一見おとぎ話みたいなストーリーと思いがちだけど、ストリートものはしりの映画に位置する大事な一本だと思うので。

あの時代のパリの空気とか、リズム感、シュールな感じ、すべてハリウッド映画とは違うノリに、きっと衝撃をうけると思います。

ソニア・パーク(スタイリスト)

どこをとってもグラフィカルでモダン。つけ睫毛とダブルラインのポリィ・マグーの大きな瞳は60年代の女の子の象徴だ。

野宮真貴(ビチカート・ファイヴ)

写真集「ニューヨーク」(1956)などで知られる現代写真界の最高峰—ウィリアム・クライン。同時に彼はCMや映画を手掛ける映像作家であり、先頃公開された「ミスター・フリーダム」を契機に、日本でも映像作家クラインに注目が集まりはじめています。「ポリィ・マグーお前は誰だ?」は、クラインの長編劇映画第1作にあたる。60年代パリのモード界を舞台に、人気モデルのポリィ・マグーと、テレビ・ディレクターのグレゴワール、そしてポリィの写真に一目惚れした王子様が紡ぐくメディア時代のシンデレラ・ストーリーが、キュートにコミカルに描かれる。また当時「ヴォーグ」誌でファッション・フォトを担当していたクライン自身の経験も随所に反映されている。グラフィカルなモノクロシーンとシュールで想像力豊かなイメージは、30年以上前に作られたとは思えない斬新さで、見るものを驚かせる。主人公のポリィ・マグーを演じるのは、当時パリで、「ELLE」誌などを賑わしていた人気モデル、ドロシー・マクゴワン。エンディング・テーマをはじめとする楽曲は、「女は女である」「シェルブールの雨傘」のミシェル・ルグランが担当している。

(1966年フランス映画/上映時間101分/ヴィスタサイズ(1:1.66)/配給:大映)

10月16日(土)から11月5日(金)までロードショー!

12:50/2:50/4:50/6:50

特別前売鑑賞券 1,400円 絶賛発売中

(当日一般1,700円/当日学生1,400)

当劇場窓口にてお買い求めの方に特製ポストカードプレゼント!(枚数限有)



ホワイティ梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分

扇町ミュージアムスクエア

TEL 06-6361-0088 www.oms.gr.jp